

平成 29 年度 第 6 回健康づくり支援部会 議事録

日 時：平成 30 年 2 月 21 日（水）19 時 45 分～20 時 10 分

場 所：市役所本庁舎 10 階 第 4 会議室

会議次第

1. 開会
2. 会議
 - (1) 前回会議の議事録（案）の確認
 - (2) 平成 30 年度 健康推進課関係予算（案）について
 - (3) その他
3. 閉会

出席委員： 阿部厚憲委員、吉村典子委員、山本勝弘委員、金須俊雄委員、
高橋きみ子専門委員、角谷巍啓専門委員、有岡秀専門委員、高橋セツ子専門委員
事務局： 鳥本健康推進課長、野原健康推進課長補佐、佐伯裕一主任補

○事務局

平成 29 年度第 6 回の健康づくり支援部会を始めさせていただきます。

本日の委員の出席は、健康づくり支援部会委員 8 名全員のご出席をいただいております、出席人数が委員の過半数を超えていますことから、本日の部会は成立しております。

これより議事進行につきまして、阿部部会長によりしくお願いいたします。

○部会長

皆さんこんばんは。さっそく会議に入らせていただきます。

前回の議事録の確認についてですが、皆さん確認していただいております、先週の話になるので記憶も新しいと思います。内容についてご意見はありますか。

○委員

特にないです。

○部会長

それでは、議事録は案のとおり承認されました。

続きまして、平成 30 年度健康推進課関係予算（案）についてについて議題といたします。
事務局からお願いします。

○事務局

それでは、平成 30 年度の健康推進課関係予算の案につきまして、ご説明させていただきます。資料は 1 と 2 になりますが、始めに資料 1 をご覧ください。

平成 30 年度の健康推進課予算の概要であります。総事業費は、1,007,362 千円であります。内訳といたしましては、左上に、記載してありますように保健衛生総務費が 284,221 千円、そのうち、主なものでは、保健衛生推進費 11,957 千円、食・運動改善推進費 916 千円、公衆浴場対策費 15,415 千円、高等看護学院分担金 69,002 千円、看護師等養成機関確保対策費 9,010 千円、帯広厚生病院運営費補助事業費 168,700 千円、すこやかネット事業費 4,341 千円などとなっております。

続きまして、右側に行きまして、予防費は、総額で 532,569 千円となっております。主なものとしては、がん検診・健康診査費 139,623 千円、予防接種費 303,105 千円、感染症予防費 77,489 千円、健康教育費 8,870 千円などとなっております。

続きまして、左下の保健福祉センター費は、保健福祉センターの管理に要します経費で 44,171 千円を計上しております。

最後に、右下の夜間急病診療費は 146,401 千円となっております。内訳といたしましては、休日夜間急病センターの管理運営費が 74,925 千円、在宅当番や二次救急医療など救急医療対策費が 71,476 千円となっております。

続きまして、資料 2 平成 30 年度健康推進課関係予算であります。左側に、平成 26 年度からの 30 年度までの 5 年間の予算額と対前年度の増減額の推移を記載しております。

左下の「折れ線グラフ」の各年度の増減を見ていただきますと、一番上の線が、合計額ですが、平成 27 年度は特別交付税措置を活用した二次救急委託料の増額と、水痘ワクチン、高齢者の肺炎球菌ワクチンの定期接種化などにより増となっております。

平成 28 年度は、日本脳炎の北海道における定期接種化による増、帯広コア学園の歯科衛生士科開設に伴う増築費補助、二次救急医療の委託料見直しによる減などにより全体として微減となっております。

平成 29 年度は、特別交付税の制度改正による帯広厚生病院運営費補助額の減と介護老人保健施設の建設費補助の終了、休日夜間急病センターの利用料金制導入による委託料の減などにより全体として 200,000 千円ほど減となっております。すこやかネットの平成 28 年度の補正予算分 (28,900 千円) が繰り越しとなり、平成 29 年度予算に含まれております。

平成 30 年度は、特別交付税の単価増による帯広厚生病院運営費補助の増と帯広高等看護学院分担金の共通経費分の増、急病センター管理運営費の委託料の増、医師確保対策補助金の増、身体障害者体力向上費の事業移管による減と予防接種費の少子化に伴う減、保健福祉センター管理費の修繕費の減などにより、全体として 10,151 千円の減となっております。

下の円グラフは平成 30 年度の予算の構成比であります。予防費が 52.9%、保健衛生総務費 28.2%夜間急病診療費 14.5%、保健福祉センター費が 4.4%の順となっております。

説明は以上です。

○部会長

今の事務局の説明に関して、何か質問のある方はいらっしゃいますか。

○委員

去年新しくふれあい銭湯に関して予算がつき、新年度も変わらないということです。実際はどのように運用されたのか細かく説明していただく機会はありますか。

○事務局

29年度の決算の時にお伝えできます。集計はまだ年度途中ですので実績が出ていません。

○委員

新年度予算を組むにあたって、事業の中でいろいろな状況があり、予算の調整が必要なのではないかと思います。決算の時に話がされるのであれば、その時にまた話したいと思います。

月1回200円で銭湯に入れる日があるこの事業ですが、各銭湯により利用状況が違うので、気になっていました。

○部会長

ほかにご意見のある方いらっしゃいますか。

○委員

予防費は減っているのはよいのでしょうか。

○事務局

予防費で減っているのは予防接種の部分です。少子化による対象者の減により予防接種費が減っています。がん検診は実績ベースで予算を組んでいます。理想は目標値に合わせて予算を組みたいところですが、厳しく見積もっています。

○委員

この関係で政策予算がつくという可能性はどこかにありますか。

○事務局

毎年行っている検診が主なので、現段階で申し上げられることはないです。

○委員

自殺対策については、どの予算区分に入るのですか。

○事務局

健康教育費です。

○委員

身体障害者体力向上費が、30年度は予算が0ですが、何か別の方からお金が出るのですか。

○事務局

所管課が健康推進課から障害福祉課に変わるためです。

○委員

先ほど聞き逃したのですが、すこやかネット事業費がこれだけ減っているのはどういうことですか。

○事務局

29年度に、すこやかネットというインターネットを利用した健康増進、子育て支援のポータルを構築する、システムを作る事業を今年度行っていて、それに経費が3,000万円ほどかかっています。来年度はそれを運用する経費に変わりますので、毎年これぐらいの運用経費がかかるようになります。

○委員

テスト期間のモニターはどのぐらいの人数でしたか。

○事務局

20名の方にモニターになってご意見をいただいています。最終の報告が上がってくる予定です。それを踏まえて、本格運用になります。

○部会長

看護師さんの養成機関確保対策費が毎年増えているのですね。これで、どのぐらい看護師さんが増えたとか減ったとかあるのでしょうか。

○事務局

看護師確保対策は、市内にあります3つの看護師養成機関に補助を行っております。各学校の卒業生については、平成28年度の市内3校で96名の卒業生がありまして、うち62名が市内に就職しています。そのほかが他町か管外、進学ということになります。

○部会長

看護学校の応募者が減っています。毎年高校を卒業したお子さんたちが、道内の都市部とか、大学に行かれる方が多くて、専門学校は不人気なのです。お子さんたちは大学志向で、学費も高いと思うのですが。また、各看護専門学校を卒業した人達は、3~4年したら帯広から出て行ってしまいますよね。

確かに看護学校に入る方には、今支援が届いているとは思いますが、奨学金などの義務年限が過ぎたら都市部の方に流れていってしまうというのが現状で、帯広の看護医療者の絶対数がなかなか増えない状況です。本当だったら、毎年60~100人増えていく計算ではあるのですが、それが減っているというのが状況です。これだけ補助をいただいているのですが、数字になかなか表れてこないのが現状です。

○部会長

ほかになればこれで質疑を終わらせていただいてもよろしいでしょうか。

それでは、その他ということで、議題のある方いらっしゃいますか。

○委員

お願いなのですが、資料を作成する際、増減の著しいものについては備考欄などに理由を書いて頂けるとわかりやすいかと思えます。

○部会長

ご意見としていただきます。

今年度7月くらいから、皆さんと集まっていろいろお話していただきまして、本当にありがとうございます。この部会は今年度は終わりになります。ありがとうございました。

事務局から何かありますか。

○事務局

ご報告ですが、先週開催されました第6回高齢者支援部会・健康づくり支援部会合同部会で、第七期の高齢者保健福祉計画・介護保健事業計画の案を説明させていただきました。その翌日15日の厚生委員会で指摘がありまして、部会実施時に配布している内容から一部変更になった部分があります。

本日配付の資料で46ページの真ん中あたり、第4節の施設サービスの充実の3です。ここが、新しく追加になっていることと、62ページ1番下の3、住まいに関する相談支援が、表記のような文章に変わっていますのでお伝えします。以前お伝えした通り、改めて送付させていただきます。以上です。

○部会長

はい、ありがとうございます。

以上で、本日の議題は終了いたしました。何度も言っていますが、これで作られた案はまだ文章の段階です。これをいかに実行していただけるかを、これから皆さんで見て行きたいと思っております。機会があれば皆さんからご意見をいただき、次に繋がる施策、それに対する提言を出せばいいなと思っております。

本当に長い間ありがとうございました。お疲れ様でした。

○事務局

今年度の部会はこれですべて終了いたしました。来年度につきましては、また健康生活支援審議会の実施がありますので、時期が来ましたらご案内させていただきます。

以上で予定されていたものが全て終了しましたので、これで閉会させていただきたいと思えます。本日はどうもありがとうございました。